

令和元年度 第1回学校評価アンケート結果について

記号	項目	児童			教職員		
		H30.7月	R1.7月	差	H30.7月	R1.7月	差
ア	学習理解	89.8%	90.9%	1.1%	89.5%	81.0%	-8.5%
イ	学習意欲	89.5%	86.8%	-2.7%	100.0%	100.0%	0.0%
ウ	一日一回発表	82.5%	80.0%	-2.5%	89.5%	81.0%	-8.5%
エ	課題提出	86.8%	89.7%	2.9%	78.9%	90.5%	11.6%
オ	目標読書量の達成	86.3%	89.1%	2.8%	94.7%	95.2%	0.5%
カ	進んで体を動かす	88.0%	88.8%	0.8%	94.7%	90.5%	-4.2%
キ	分かっていくとして聞く	93.0%	95.3%	2.3%	73.7%	85.7%	12.0%
ク	自分の考えを伝える	91.5%	93.8%	2.3%	57.9%	66.7%	8.8%
ケ	まとめを自分の言葉で	90.1%	88.1%	-2.0%	63.2%	66.7%	3.5%
コ	進んであいさつ	83.6%	86.5%	2.9%	94.7%	38.1%	-56.6%
サ	規範意識	90.4%	93.2%	2.8%	94.7%	95.2%	0.5%
シ	めあてへの意識	92.4%	94.4%	2.0%	100.0%	100.0%	0.0%
ス	言葉遣い	89.2%	94.4%	5.2%	73.7%	95.2%	21.5%
セ	学校が楽しい	87.4%	89.1%	1.7%	94.7%	100.0%	5.3%
ソ	教師の子ども理解	91.5%	92.4%	0.9%	100.0%	95.2%	-4.8%

★「塗りつぶし」・・・差が+2.5以上 「下線」・・・差が-2.5以下

<主な学習面での表れ>

○●「学習理解」の児童の数値は上がっているが、教職員の数値は下がっている。

●「一日一回発表」の数値が、児童も教師も数値が低い。

○「課題提出」「目標読書量の達成」「分かっていくとして聞く」「自分の考えを伝える」の数値が、児童、教職員共に高く、上がっている。

●○「まとめを自分の言葉で」の数値が、児童は下がっているが、教職員は上がっている。
○●「進んで体を動かす」の数値が、児童が上がり、教職員は下がっているが、どちらも高い数値である。

<主な生活面での表れ>

○●「進んであいさつ」の数値が、児童は上がっているが、教職員は大変下がっている。

○「規範意識」「めあてへの意識」「言葉遣い」「学校が楽しい」の数値は、児童、教職員とも数値が高い。

●「教師の子ども理解」の数値が、児童は上がっており、教職員は下がっているが、どちらも高い数値である。

<考察>

○●学校全体が落ち着いて学習している。今年には教職員が「一人一人にもっと力をつけたい！」という思いを強く持って授業をしている。それを受けて児童ががんばって学習しており、「できた！」「分かった！」という実感を持っている。しかし、教職員は常に工夫を重ね、試行錯誤で授業をしており、十分に満足していない状態にあると考える。

●「一日一回発表」は第2期の重点項目であるため、第2期に期待したい。

○「分かっていくとして聞く」「課題提出」が第1期の重点項目であったため、数値が高かったと思われる。また、「聞く」として「伝える」ことは同時に指導することであるので、数値が伸びたと考える。「読書量の達成」は、クラスで学校図書館に行く機会が増えたためだと考える。

●○「まとめを自分の言葉で」は、まとめを書く機会を重ね、児童、教職員の数値が上がっていくよう、2学期以降に期待したい。

○●天候に左右される項目であるが、体を動かす楽しさを感じるようにこれからも工夫をしていく。

○●「進んであいさつ」については、校内で「あいさつパワーアップ週間」を設けて取り組んだ。校内や週間の中では、張り切ってあいさつをするが、それを校外に広げることができていない。校内でも朝のあいさつの声は小さい。あいさつすることの意義を考えさせたい。2学期から教師が元気にあいさつしている子を積極的に見付け、称揚していく。(まずは、校内でのあいさつへの意識をもっと高めていく。)

○学校全体が落ち着いている成果だと考える。

●「教師の子ども理解」の数値が高いのは、児童と教職員の関係が良い距離感であるからだとと思われる。